



杉並区立高井戸第四小学校

令和3年1月12日

ことばの教室だより

1月号



あけましておめでとうございます



2020年は、私たちの生活が大きく変化した年でした。マスクを着け密を避ける、手指の消毒や換気が当たり前のことになり、安心して過ごせる日常は、まだ少し先ようです。

現在、高四小ことばの教室では安全面を考慮して、集団で行う活動を控えるようにしています。例年は秋に、グループで活動する行事を実施していましたが、今年度は廊下の掲示板を使って一人一人が好きなテーマや内容で掲示をすることにしました。友達が作ったアンケートやクイズに答えたり、掲示を見た感想をカードに書いて貼ったりなど、掲示板を活用して交流が広がっています。活動の制限が多くある状況の中でも、工夫してできることがあるのだと気付かされます。

冬休みの過ごし方も、例年とは違ったものになったのではないのでしょうか。どんな冬休みだったか、話を聞けることを楽しみにしています。3学期は短く、通級回数も少ないです。引き続き、健康と安全に留意して、一人一人の学びが充実したものになるよう、努めていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



行事予定

8日(金) 高四小 始業式

1月

12日(火) 3学期通級開始

22日(金) 専門家診断(午前)

継続検討部会(午後)

23日(土) 高四小 土曜授業

(共生社会教育 高四小5年)



8日(月) 区難言定例会(午前)

3月

9日(火) 都難言ブロック研究会(午後)

10日(水) 「おわりの会」、通級終了

13日(土) 高四小 土曜授業

15日(月)～19日(金) 個人面談週間

16日(火) 個別指導計画(報告書)発行

24日(水) 高四小修了式

25日(木) 高四小卒業式



※予定は、変更になる場合があります。

※このほか、研究会などで出張することがあります。その際は、個別に連絡をしますので、ご了承ください。

13日(土) 高四小 土曜授業

2月

15日(月) 区難言定例会(午前)

16日(火) 入級検討部会(午前)

27日(土) 高四小 土曜授業



<在籍学級担任の先生方へ> アンケートご協力のお礼

来年度の通級継続会議に向けて、昨年に配布いたしましたアンケート用紙について、ご協力・ご返送いただきありがとうございました。通級児童の在籍学級での様子がよく分かり、適切な支援に向けた検討ができています。児童にとってより良い支援につなげるために、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

感染症等による学校閉鎖、学級閉鎖の場合は、通級できません。本人やご家族に発熱などの風邪症状がある場合も、通級をお控えください。

感染拡大防止のため、ご協力をお願いいたします。



共生社会教育(12月21日)

～高井戸第四小3年生～

「だれにでも得意なことや苦手なことがある」をテーマに、学習しました。写真は、色カードを挙げて、考えを表現しているところです。次号でも紹介します。



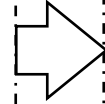
難聴

= “聴くことが難しい” という意味で、“音や声が聞こえにくい” こと

参考：発達と障害を考える本9「聴覚障害のおともだち」 ミネルヴァ書房より

【きこえにくいと、どんなことが起こる？】

- ききもらし、ききまちがい
- 危険に気づきにくい
- 相手に伝わりづらい
 - ・自分が正しい発音で話しているか分からない。
- 周りに分かってもらえない
 - ・外見はきこえる人と変わらないので気付いてもらえない。
 - ・目で情報を得ようとするため、キョロキョロしていると、「落ち着きがない。」と言われる。
 - ・大勢の会話は難しいため、一人で寂しい思いをすることがある。



【きこえにくい人の コミュニケーションの工夫】

- 補聴器
 - ・音を大きくしてくれますが、雑音も大きくなることがあります。
 - 人工内耳
 - ・補聴器を付けてもきこえづらい人の中に活用する人がいる。
 - 目で見る
 - ・読話や筆談、手話など。
- ※その他にも日常生活を助けるためにいろいろな道具があります。

★こんな配慮をお願いします★

【話をする時・・・】

- 顔を見て、やや大きな声ではっきりと話す。
- ややゆっくり、短めの文体で話す。
- 本人の視線を確かめてから、話す。



マスクを着けていると、話している人の口の動きが見えないので、話の内容がとても分かりにくくなります。

口の形が見えるよう、透明なフェイスガードやアクリル板を活用したり、文字などを書いて見せて伝えたりなどの工夫も、取り入れるとよいです。

【学校では・・・】 ※連絡内容が確実に伝わっているか、確認してください。

- 視覚的に、ポイントとなる言葉や合図を示す。
- きくことだけに集中できるように、活動をしぼる。
- 板書が終わってから話し始める。
- 座席
 - ・一番前はモデルになる児童がいないため、落ち着きがなくなることがある。
 - ・聞こえの良い耳から先生の声が聞こえるような座席配置が望ましい。



教室では、前から2～3番目あたりで先生の顔がよく見える位置が良いとされていますが、一人一人聞こえ方は異なります。児童・保護者・在籍学級担任・通級担任で相談しながら調整することが望ましいです。

杉並区には、高井戸小学校に『きこえの教室（けやき学級）』がありますので、ご心配な点がありましたら、ご相談ください。事前に、耳鼻科で聴力検査を受けておくよう、お願いします。

〈けやき学級 直通電話：3334-1299〉